

内視鏡的胃粘膜下層剥離術(胃ESD:前日入院)

患者様用クリニカルパス

年 月 日

ID @PATIENTID

患者名 @PATIENTNAME

月/日	/	/	/	/	/	
経過	入院日(治療前日)	治療日(治療前)	治療日(治療後)	治療1日目	治療2~7日目	退院日
達成目標	◇治療を受ける準備ができる	◇安全に治療を受けることができる	◇腹痛や出血がない ◇安静を守ることができる	◇腹痛や出血がない ◇食事制限が守れる	◇腹痛や出血がない ◇食事制限が守れる	◇退院後の生活に不安がない
観察	体温・血圧・脈などを測定します。腹痛、排便の状態を観察します					
活動・安静度	自由です	自由です	ベッド上安静となります	動ける範囲をお知らせします 基本的には朝の状態が落ち着いていればトイレ、洗面の歩行可能です	病棟内自由です 	散歩など軽い運動は可能です 疲れな程度にしましょう 重い荷物を持つたり、激しい運動(ジョギング水泳など)は控えてください。 出張や旅行などの遠出は控えてください
食事	夕方まで普通食がでます	朝から絶食です 薬の内服のための少量の水分は飲めます	水分は(:)より可能です 	絶食です	食事は医師の指示で始まります 流動食から始まり、症状をみながらお粥に変わっていきます。 食事開始時に看護師からパンフレットに沿って説明します。	なるべく消化の良いものを良く噛んで食べるようにしましょう 食事に不安がある場合は栄養士より、食事指導を受けて頂きます
清潔				体を拭きます	入浴は可能ですが長湯は避けましょう	
排泄		治療前に医師の指示があれば尿の管を入れます		尿の管が入っていれば尿の管をぬきます 指定の紙に尿量記入してください	指定の紙に尿量記入してください	
治療・処置	入院後点滴をさせていただきます	内視鏡室で治療を行います ベッドで移動します	点滴を続けてします 			【退院後の生活について】 決められた外来受診日に受診して下さい。 治療した部分の潰瘍は順調に治っています しかし完全に治るまでには約2か月ほどかかります。心身の安静を心がけ、十分な
薬剤	常備薬を教えてください 内服は医師の指示にしたがってください		胃粘膜保護剤を内服します		薬について薬剤師から説明があります	
検査	医師の指示により採血・レントゲンがあります			医師の指示により適宜採血・胃カメラがあります。		酒、タバコは治療を遅らせる原因になりますので、この機会にやめることをお勧めします。 吐血、下血や黒い便、めまい・ふらつき(貧血のような症状)、急激な腹痛、などの症状があったら病院に連絡し、受診してください
患者様及びご家族様への説明		入れ歯や指輪・時計などの貴金属類ははずして下さい 検査前に緑の検査衣に更衣してもらいます 治療中は御家族に待機してもらって下さい	治療結果について医師より説明があります	胃痛、吐血、下血、腹痛、気分不快などあれば、看護師にすぐお伝えください 排便時は便の色を観察してください 便が黒い時、赤い時は流さずに看護師にお知らせください		

2017.5.20

市立四日市病院 消化器内科病棟